

成城美学美術史学会 2015 年度第 2 回例会プログラム

2015 年 9 月 18 日（金）於・成城大学 821 教室（8 号館 2 階）

12:00-12:05 開会の辞

【修士論文構想発表】司会：相澤正彦・岩佐光晴（成城大学文芸学部教授）

12：10-12：50 青柳文子 「ロセッティのヴェネツィアン・スタイル作品の再評価」

12：55-13：35 荒井孝則 「新薬師寺と本尊薬師如来坐像について

—山林寺院としての可能性をめぐって—

13：40-14：20 岡田実沙子 「G.F. ワッツの「表情を隠す」表現の考察」

休憩（20 分）

14：40-15：20 浜本夏未 「ジョセフ＝マリー・ヴィアン《アモルを売る女》

—制作と受容—

15：25-16：05 福岡仁 「オーギュスト・ロダンの《生命の夢》について」

休憩（20 分）

【研究発表】司会：山下純照（成城大学文芸学部教授）

16：25-17：05 清水友美 「明治末期・大正期における半身裸婦像の様式

—白馬会・文展・二科会まで—

17：10-17：50 津上英輔 「芸術と娯楽：コリンウッドの区分を越えて」